

【研究シーズテーマ】

センサーや通信機器を利用した 高齢者見守りシステム

 生命学部 生体医工学科 教授 **小川 英邦**

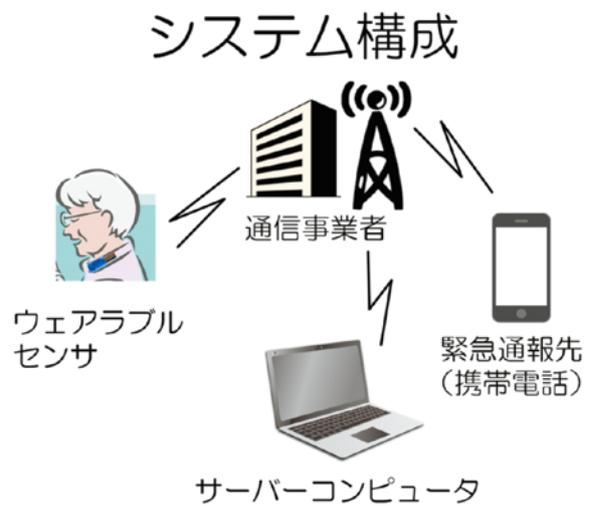

複合領域

Keyword

高齢化／センサー／見守り／緊急通報


【研究シーズの概要】

核家族化と急速な高齢化に伴い、独居を含む高齢者だけの世帯が増加しています。また、共働きの増加で、日中は高齢者だけの世帯も多くみられます。家族や親せきにとって、高齢者を見守ることは大切ですが、そこには大きな困難が伴います。そこで、本研究は、各種センサーや通信機器を活用することで、自動で高齢者を見守るシステムを構築しました。高齢者の行動を束縛することなく、高齢者を見守り、コミュニケーションを実現します。



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 高齢者の位置や姿勢を常時見守り、バイタルサインの確認も可能
- 非接触で、ベッド上での行動やバイタルサインの検出が可能
- 通常の生活に影響を与えず、体調管理・異常行動の把握、緊急事態発生の検知

【産業界での展開・用途】

- 見守り機能を付けた、高齢者向けの電話・携帯電話
- 夜の活動を常時見守る、高齢者見守りベッド
- 自宅での行動を見守る、高齢者見守り住宅

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp